



●中国海軍の火器管制レーダーの照射の危険度

2月5日夜、小野寺五典(おのでら・いつのり)防衛相は、1月30日、公海上で海上自衛隊護衛艦が中国海軍艦船により火器管制レーダーの照射を受けた事実を明らかにした。

艦艇は通常2種類のレーダーを保有する。一つは周波数の低い**搜索レーダー**であり、遠くにある敵を探するために使用する。もう一つは周波数の高い**火器管制レーダー**である。このレーダーは射撃する目標に照射し、目標までの距離や方向を標定して、射撃するためのデータを火器システムに付与し、あるいはレーダーの反射波に向かって追従するミサイルや誘導砲弾を導くためのものである。

従って、火器管制レーダーの照射を受けた艦艇は次は砲弾あるいはミサイルが飛んでくることを予測して、緊急防護戦闘体制を発動し、ミサイルからの回避行動をとり、妨害電波の発射して敵ミサイルを無効化する、あるいは自衛反撃のためのミサイルの発射を行うこととなる。(例えば、ピストルの銃口向けられ、狙いを定めて、引き金に指をかけた状態であり、いつでも弾が飛び出す状態である。)

このように搜索レーダーと異なり、火器管制レーダーの照射は、戦闘行動の一種であり、平時において許される行為ではない。このような行動は**交戦規定に示された敵対行為**であり、反撃されても責任は火器管制レーダーを発射した側にある。中国艦艇が公海で行動する以上は**国際ルール**を守ることが厳に要求される。



●改正労働契約法 一定年延長法に盲点、契約社員に大チャンス



今年4月から改正労働契約法が施行される。目玉は、有期労働契約が繰り返し更新されて通算5年を超えた場合、無期労働契約に転換できる「5年ルール」だ。対象は、契約社員やパート、アルバイト、派遣、嘱託などの有期契約労働者(派遣社員は派遣元との労働契約が対象)。1年契約を繰り返して更新しているケースなら、5回目の更新後に無期転換の権利が発生する。契約期間中に労働者が申し込めば、契約期間終了後に無期労働契約に切り替わる。今年4月以降に結ばれた有期労働契約に適用されるため、5年ルールで無期転換する人が現れるのは2018年4月以降だ。(プレジデント) 今回の改正は、3人に一人が非正規社員といわれる労働市場の正常化を図ることが目的である。

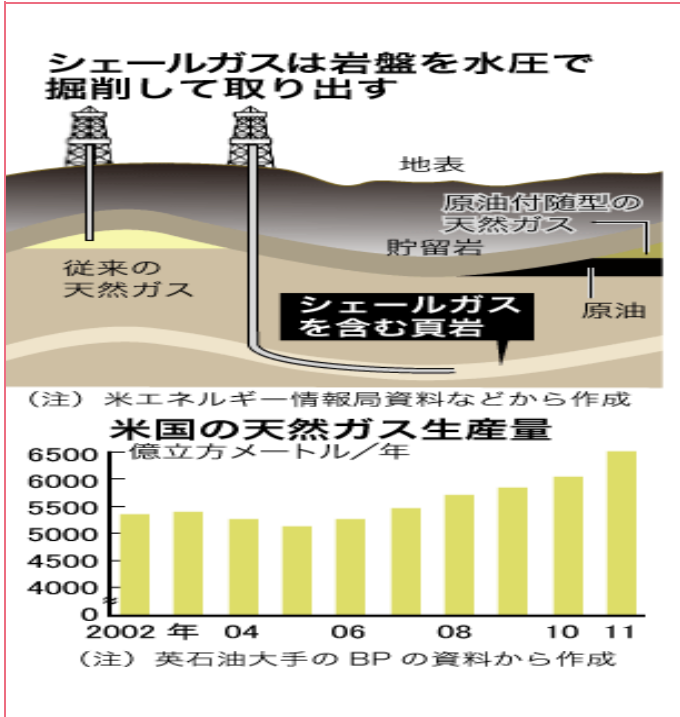
●日米首脳会談で議題にされたシェールガス

地下100~2600メートルに存在する**天然ガス**の一種。地中の頁岩(けつがん=シェール)という固い岩盤の中に閉じ込められており、従来は技術的に採掘が困難だった。21世紀に入り米国では地層を水平に掘り進む技術や水圧掘削の手法が発展し、掘削コストが大幅に低下。**新興国の需要**増によるエネルギー価格の高騰でここ数年は増産ブームに沸いている。この現象を「シェールガス革命」と呼ぶ。一方で採掘による地下水の汚染などを懸念する声も出ている。

生産拡大で北米での**天然ガス**価格は大幅に下落。

米国の指標であるニューヨーク市場の価格は今年4月に一時、2008年の高値の6分の1以下になった。米国では火力発電用の燃料に使われるほか、石油化学原料にも利用が拡大。燃料コストの低下で米製造業の競争力底上げにつながっている。

米国の**天然ガス**の生産量は最近5年で約25%増加。09年にはロシアを抜いて世界最大となった。シェールガスの開発は東欧などでも進んでいる。中国や南米などにも大量に埋蔵されているといわれている。最近では同じように岩盤層から取り出す石油の「シェールオイル」の生産も拡大している。



原子力発電が事実上ストップしている我が国にとって、シェールガスの輸入は喫緊の課題である。

●南鳥島沖のレアアースは高濃度



日本の排他的経済水域である南鳥島沖の海底には、去年、大量のレアアースが存在すること判明したが、その濃度は、元素によっては中国の鉱山の30倍余りに上っていることが、現地調査の結果、分かった。

深い海からの引き上げ技術の確立や、採算がと

れるかといった課題があるが、専門家は「資源として開発できる可能性が高まった」と期待している。

日本の排他的経済水域である南鳥島沖の海底の泥には、去年、大量のレアアースが存在することが、東京大学の研究で明らかになり、先月には船舶による現地調査が行われた。

調査では、水深5000メートルを超える海底から泥が採取され、分析の結果、レアアースは6000PPMという高い濃度で含まれていることが確認された。

濃度は海域や深さによって異なっていたということだが、濃度の高い場所では、レアアースの中でも特に重要とされ、ハイブリッド車の製造などに欠かせない「ジスプロシウム」が、中国南部の鉱山のおよそ20倍の濃度で含まれていた。

また、この泥の中には、LED照明などに利用される「ユロピウム」が35倍、IT機器に必要な「テルビウム」も16倍の濃度で含まれていた。

泥の分析を行った東京大学の加藤泰浩教授は、「レアアースが高い濃度で含まれる泥が、海底面に近いところで見つかったので、資源として開発できる可能性が高まった」と話している。

ただ、今回レアアースが見つかった、5000メートルを超える深海では、世界的にもこれまでに資源開発が行われた実績はなく、経済産業省などは今後、引き上げ技術の開発や、採算がとれるかといった課題について、検討を進めることにしている。

●健康保険料は今年度は据え置き

例年3月から値上げされていた協会健保の健康保険料は今年度は据え置かれることとなった。保険料の負担と給付関係は次のようになる。

保険料負担と給付の関係【1人当たり(年間)】
 負担年約 36.8 万円 → 保険給付等年約 43.2 万円
 保険料のほか、国庫補助金(税金)等により、約 6.2 万円が給付に充てられています。
 保険給付等には、高齢者の医療費を支えるための拠出金等が約 17.5 万円含まれています。

保険料の使い道は次のようになる。

皆様の保険料1万円当たりの使い道

加入者の皆様が病院等を受診した時の医療費 約5,160円	加入者の皆様が病気で職場を休んだ際の手当金や出産した時の給付金 約610円	加入者の皆様の健診費、保健指導費 約100円	高齢者の方々が病院等を受診した時の医療費(拠出金) 約4,040円	協会けんぽの事務経費等 約90円